

平成25年度 湖北広域行政事務センター議会議員研修

研修の概要

- 実施日 平成25年10月2日(水)
- 研修先
 1. 小松加賀環境衛生事務組合 小松加賀斎場 さざなみ
石川県小松市日末町メ16番地1
 2. 坂井地区広域連合 さかいクリーンセンター
福井県坂井市坂井町今井1-1
- 参加人数 25人(センター議員10人、監査委員1人、構成市職員1人、センター職員13人)
- 研修目的 当センターこもれび苑は、S54年の開設から今年で34年目を迎え、施設が老朽化しており、これに伴う施設の維持修繕経費も年々増加しています。また、今年度からは施設の管理運営を指定管理事業者に委託することになりましたが、将来に向けての斎場施設のあり方について検討をする必要があります。
一方、第1プラントにおいても、S59年に増改築をしたもののS49年の開設から今年で39年目を迎え、施設の老朽化が進んでおります。
このため、当センター議会では、斎場施設とし尿処理施設の整備を、新最終処分場建設の次なる最重要課題として位置付け、今後、新斎場施設・新し尿処理施設の建設を検討するに際しての参考となると考え研修を実施いたしました。
今回研修先とした小松加賀斎場さざなみは、小松加賀環境衛生事務組合(小松市と加賀市で構成)が設置する斎場施設で平成23年6月に開設された最新の火葬施設です。
一方のさかいクリーンセンターは、坂井地区広域連合(坂井市、あわら市で構成)が設置するし尿処理施設で平成23年4月から汚泥再生処理センターとして供用開始された施設です。
両施設とも当センターと管内人口規模が同様で、センターの将来施設と同程度の規模であるため今回の視察先としました。

研修内容

8:00 クリスタルプラザ出発

10:15 小松加賀斎場 さざなみ 到着

研修開始

小松加賀斎場さざなみの職員の方から斎場施設建設工事にかかる経緯、施設概要について説明を受ける。その後、施設見学を終えてから質疑応答が行われ、同職員の方から施設の運営および維持管理についての説明を受けた。

施設見学

待合室から告別室、炉前ホール、炉室、収骨室という流れで見学しましたが、遺族同士が交錯しないよう、一筆書きで動けるような設計がなされていました。続いて、待合ラウンジ、展望ロビー等を回りましたが、ホール・廊下等至るところに市民の方や美術作家協会から寄贈を受けた多くの美術品(101点)が展示されており、癒しの空間が広がっていた。

11:20 小松加賀斎場 さざなみ 出発

13:20 さかいクリーンセンター 到着

研修開始

坂井地区広域連合議会副議長さんのお出迎えを受け、さかいクリーンセンターの職員の方から施設建設に至るまでの経過、施設概要について説明を、DBO方式による施設の維持管理・運営を委託されている会社の方から施設の運営および維持管理についての説明を受ける。その後、施設見学を終えてから質疑応答が行われた。

施設見学

管理等、水処理棟、資源化棟をそれぞれ見学し、各水処理工程や設備について説明を受けました。この施設では処理工程で分離した汚泥を堆肥製品(製品名:すくすくさかい)にすることによって再資源化されていました。

14:30 さかいクリーンセンター 出発

16:40 クリスタルプラザ 到着

◆研修の様子
(小松加賀斎場 さざなみ)



(さかいクリーンセンター)

